

日本初のスライド式ソファベッドを開発。他社の追隨を許さない 高い技術力を背景に、業界トップシェアを誇るエキスパート



スライド式ソファベッドの市場を独占する

(株)シノハラ製作所は、1923年に北九州市門司区で創業した、ソファベッドの製造販売を業とする企業である。日本のソファベッド市場全体のおよそ40%を占有し、その中でスライド式ソファベッドに限ると、市場をほぼ独占している。

このスライド式ソファベッドは、1950年代に(株)シノハラ製作所が試行錯誤を重ねた末、独自の金具を使った機構を開発、世に送り出した同社オリジナルの商品である。

一般のソファベッドは、背がそのまま後ろに倒れるため、その分のスペースを必要とし、操作の都度ソファを移動させる作業が必要になる。

同社のスライド式ソファベッドは、座面下部を手前に引き出すことにより背が連動して倒れる機構のため、後ろにスペースを必要とせず、また操作が簡単にできることが特長になっている。

また一般のソファベッドは、ベッドに変化した時に座面をフラットにするため、ソファ時に座面に傾斜がついておらず座り心地に問題を抱えるが、同社の機構ではソファ時に座面に5度の傾斜を持たせても、ベッドにした時にフラットにすることができるという特徴を有する。

No.1 製品を支える他社の追隨を許さない 高い技術力

この顧客価値の高いスライド式ソファベッドを可能にしているのは、半永久的に締結効果を持つという金属製リベットを用いた「スライド式金具(ヒンジ)」である。

留める箇所によりリベットの大きさを変えたり、ギアの精度を確かなものにする「ものづくりの技術」は、未だ他社から類似品が出ないことを見ても相当な高さにあることがうかがわれる。

エコロジカルな“ソファの張替・再生事業”に進出

同社は、エコ活動としてソファの張替・再生事業の取り組みを始め、顧客の口コミから年々売上げを伸ばしている。張替時に廃棄物として出てくる布地やレザーは、手間を加えてティッシュカバーなどの小物品に加工し、工場見学者などへのお土産として無料提供し、喜ばれている。

また同社は、「地域活性化を意図した親子釣り大会」や「幸せ祈願の餅つき大会」、また「きれいな街づくりのための清掃活動」など、地域貢献活動に全社を挙げて積極的に取り組んでいる。



株式会社 シノハラ製作所

スライド式ソファベッド



代表取締役
篠原 猛氏

1990年 代表取締役に就任。
1923年より続く創業90年の
伝統を、創業者から「モノづくり
精神」として受け継ぎ、製品に
魂を入れ、顧客満足度を追求し
ている。

ソファベッドの先駆者の役割を
果たし、家具業界のみならず異
業種との交流による経済活性化
を図り、日々、新商品を創造
していくことも大切な役目だと
考える。
今後も、挑戦につく挑戦で一步
先を行く市場開拓に邁進する。

企業概要

DATA

企業名	株式会社 シノハラ製作所
代表者	篠原 猛
所在地	北九州市門司区片上町3-33
TEL	093-381-4135
FAX	093-381-0015
資本金	2,000万円
創業	1923年
従業員数	21名
事業内容	① ソファベッドの製造 ② ソファ、椅子などの修理・張替え
URL	http://www.shinohara-ss.co.jp/